



港南小学校だより

校長 船木亮作

二学期がスタートして一か月が過ぎました。九月二十四日には、初めて土曜日に保護者会を実施しました。今後、実施時期につきましては、皆様のご意見を頂きながら改善を図っていききたいと思います。

七月に移動教室、八月に夏季学園に行ってきましたが、その中のめあての一つに「自立」がありました。特に六年生は初めての宿泊学習とともに引率教員が少ない中、何とか「自分のことは自分で」を目指して三日間過ごしました。我々の感覚では考えられないことがいくつもあり、その一つ一つを丁寧に教えていかなければならないことも痛感しました。例えば、公共のお風呂では湯船にタオルと浸けてはいけないこと、お風呂から出る際に体を拭くこと、布団にシーツを引くこと、食事前にトイレを済ませておくことなど子供たちは家庭で経験したことのない場面に立たされ、戸惑うシーンがいくつもありました。これは、子供たちが悪いのではなく、ただただ経験したことのない連続だったということです。そんなことを学ぶ場の一つが宿泊学習であり、貴重な体験の場であることを改めて認識しました。しかし、子供たちは日に日に学習し、成長している姿が見られたことはとても良かったことです。親元を離れ、自分の力で自分のことを行う経験の必要性を再認識するとともに、もう一泊あればさらに成長できただろうと思う場面がいくつもありません。

さて、少し前の統計になりますが、内閣府が四十歳から六十四歳の引きこもり人口の推定を六十一万人と発表しました。身近に「成人したのに家に引きこもっている」と悩みを抱えている人が、少なからずいるかもしれません。親としては「何とか立ち直って欲しい」と願うのは、無理のないことです。しかし、これを解決するには子供自

10月

二十四節気・七十二候

<10月の二十四節気>

- ・10月8日 寒露
気寒く露草重し
- ・10月23日 霜降
霜結んで嚴霜白し

<10月の七十二候>

- ・鴻雁来
こうがんきたる
→ががが飛来し始める
- ・菊花開
きくのはなひらく
→菊の花が咲く
- ・蟋蟀在戸
きりぎりすとにあり
→蟋蟀が戸の辺りで鳴く
- ・霜始降
しもはじめてふる
→霜が降り始める
- ・雲時施
こさめときどきふる
→小雨がしとしと降る
- ・楓薦黄
もみじつたきばむ
→もみじや薦が黄葉する

身に「このままではいけない」と気付かせ、自発的に行動を起こさせるしかありません。

米国の教育者のデー・カーネギーが著した「人を動かす」は、人間関係の改善に主眼を置いた世界的な名著です。人間同士が分かり合うのはとても難しいことで、これが親子でも同様だと言えます。「子供なら以心伝心で自分の気持ちを分かってくれるだろう」と一般的に親は考えがちですが、それは幻想にすぎません。子供は子供で別人格であり、親とは全く価値観が異なるかもしれないのです。したがって、親も、子供のことを理解し、子供の考え方や気持ちを受け入れられるよう、心掛ければなりません。カーネギーの著書の中に、「人を非難する代わりに、相手を理解するように努めようではないか。どういうわけで、相手がそんなことをしてかすに至ったか、よく考えてみようではないか。その方がより得策であり、面白くもある。そうすれば、同情、寛容、好意も自ずと生まれ出てくる」と言っています。人間はきわめて自尊心の強い生き物です。たとえそれが相手のためであっても押さえつけようとするれば、必ず、反抗してきます。子供を動かしたいのなら、力づくで動かそうとしても子供は動かない。つまり、まず、「相手の立場を尊重すること」「こそ、相手の心を開かせ、聞く耳をもってもらうための最善策であると彼は説いています。

さらに、「命令を質問の形に変えると、気持ちよく受け入れられるばかりか、相手に創造性を発揮させることにもある。命令が出される過程に何らかの形で参画すれば、誰でもその命令を守る気になる」と述べています。そうすれば、相手の心を傷つけずに自然な形で「気づき」を与えることになるかもしれません。

最後に子供のことを信じて辛抱強く働きかけるのも必要かもしれません。

SOSの出し方に関する教育

誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指し、国では自殺対策基本法に基づき、自殺対策大綱を定めています。その中には、学校が推進すべき自殺対策に資する教育が三点示されています。

- ①命を大切に実感できる教育
- ②SOSの出し方に関する教育
- ③心の健康の保持に係る教育

本校では、①については、特別の教科「道徳」の中で、③については体育科や特別活動の中で指導する計画になっています。

②は体育科や特別活動などを通じて、東京都教育委員会が作成したDVDやワークシートなどを発達段階に応じて使用しながら指導する計画となっています。

この教育は、子供が、現在起きている危機的状況、又は今後起こり得る危機的状況に対応するために、適切な援助希求行動(身近で信頼できる大人にSOSを出す)ができるようにすることを目的としています。

子供の不安や悩みを身近な大人が受け止め、支援することが求められています。最も身近な大人は保護者の皆様ですが、地域の方や学校の教職員も子供たちのSOSをしっかり受け止めることができます。よう、三者で連携していきたいと考えております。どうぞよろしくお願いたします。

(生活指導主幹 小清水孝)



東京都港区港南4-3-28
TEL 3474-1501・FAX3474-1500

11月の主な行事予定

- 1日(火)食育月間始、ふれあい月間始、セーフティタイム、社会科見学(6年)
- 3日(木)文化の日
- 4日(金)学校公開
- 6日(日)学校公開、総合防災訓練
わくわく教室公開、学校説明会
- 7日(月)振替休業日
- 10日(木)歯科検診(2年、3年)
- 11日(金)教育実習終
- 14日(月)4時間授業【13:10頃下校】
- 15日(火)セーフティ教室(5年、6年)
- 16日(水)就学時健診【12:20頃下校】
- 18日(金)げんきアップタイム
- 19日(土)クリーン作戦
- 22日(火)港南幼稚園読み聞かせ(5年)
- 23日(水)勤労感謝の日
- 25日(金)港区教育委員会研究奨励校発表会
- 28日(月)クラブ活動(アルバム用写真撮影)
- 30日(水)サントリーサンゴリアス出前授業(6年)

10月の行事予定

日	土	都民の日
1日	土	都民の日
2日	日	
3日	月	前期成績通知日、全校放送 フレンドリータイム、げんきアップタイム 委員会活動(アルバム用写真撮影)
4日	火	連合運動会(6年)
5日	水	
6日	木	セーフティタイム、歯科検診(5年、6年)
7日	金	合同運動会(わかば)、芸術鑑賞教室(6年)
8日	土	
9日	日	
10日	月	スポーツの日
11日	火	全校放送
12日	水	基礎なし
13日	木	歯科検診(4年、わかば)
14日	金	みなと科学館見学(6年)
15日	土	クリーン作戦、港南幼稚園運動会
16日	日	
17日	月	全校放送、教育実習始
18日	火	
19日	水	
20日	木	Autumn Festa(児童鑑賞日)
21日	金	Autumn Festa(児童鑑賞日)
22日	土	Autumn Festa(保護者鑑賞日)
23日	日	
24日	月	振替休業日
25日	火	全校放送
26日	水	校外学習(1年1組~4組)
27日	木	避難訓練、げんきアップタイム
28日	金	校外学習(1年5組~7組)
29日	土	
30日	日	
31日	月	全校放送、クラブ活動

副校長より

学校行事で育つ力

平井堅さんの「桔梗が丘」

という歌の歌詞に「あなたが
何かに傷ついた時 変わって
あげられない歯がゆさは そ
れを乗り越えた時の笑顔を
見つめた時に 私の誇りにな
るから」という一節がありま
す。頑張っている子供を見守
る親の気持ちを歌った歌で
す。

学校行事は普段の学習とは
違い、集団で行う活動です。
自分のよさに気付いたり、友
達のすごさを認めたり、集団

としての成長を実感したりしなが
ら仲間と一緒に作り上げるもの
です。その過程では、自分の思うよ
うに行かないこともあり、不貞腐れ
たり泣きたくなったりすることが
あるかもしれません。そんな時はお
子さんの成長のチャンスと信じ、乗
り越えたときの笑顔を楽しみに支
えてあげてください。

わかば学級は合同運動会、六年
生は連合運動会、そして全校児童に
よる Autumn Festa。行事で成長す
る子供たちにご期待ください。

(副校長 平 裕子)

久道 泰司)

	わかば	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児童数(人)	35	229	211	204	222	220	234	1355

(9月30日現在)

二年生より

みんななかよし
パワーゼンかい!

二年生は、「みんな なかよし パワーゼンかい」という学年目標を掲げて学校生活を過ごしています。

一学期はスポーツフェスタがあり、二年生になって初めて大勢の保護者や他学年の児童を前に発表することを経験しました。全体練習や個人練習を積み重ねていく中で、上達していく喜びや、友達と協力することの楽しさを実感することができました。

二学期に入り、オータムフェスタに向けて歌唱や合唱の練習が始まりました。全員で気持ちを一つにすることや息を合わせることを意識して練習に励んでいます。歌や音が揃ったときの喜びや気持ちよさ、全員で一つのものを作り上げることの楽しさを感じる事ができるように、担任一同力を合わせて、指導してまいります。

(二年五組 栗田 純)



こうなんのまちと
もっと なかよし

生活科「こうなんのまちと もっと なかよし」の学習では、港南の町の地図を見ながら、知っていることを友達と話し合いました。子供たちは、話し合いを通して「港南の町ってこんなに広いんだ」と気付いたり、「行ったことない場所があるから行ってみたいな」という思いをもったりしました。

そこで、港南の町をぐるりと歩き探検してみました。生き物や人の様子、建物などに目を向けながら歩いてみると、「この道はどんぐりの木がたくさん生えていてどんぐりロードみたいだ」と発見したり、「この建物はなんだろう」と疑問を抱いたりしていました。

今後は気になる場所を選び、グループでさらに調べていく予定です。調べ学習を通して、子供たちが疑問を解決しながら「港南の町のよさ」を発見していくことができるようにしていけたらと思います。

(二年七組 松川 ゆり)



三年生より

かしこくなかよく

二年生の時は、「みんなできいしょに」という学年目標から、学級や学年の誰とでも仲良く一緒に成長していけるような活動を行ってきました。スポーツフェスタや町探検の学習発表で、学級の友達と一緒に行うことのよさに気付く体験を積み重ね、協力することの楽しさを実感したと思います。

一方で、三年生になってから友達についてアンケートをとると、「一緒に話し合い活動をしているけど名前が分からない」「休み時間一人で過ごしている」と感じている児童が一定数いました。

このアンケート結果を受けて、いつでも、どこでも、誰とでも関わり合って活動できるようになって欲しいという願いを込めてできた学年目標は、「かしこく なかよく」です。

二学期は、オータムフェスタもあるので、友達との関わり合いを広げていけたらと思います。

(三年五組 篠塚 浩介)



発酵ワンダーランド

三年生の総合的な学習の時間では、国語「すがたをかえる大豆」と関連付けて「発酵ワンダーランド」の学習を七月からすすめています。最初は、牛乳の発酵食品について考えました。給食によく出るチーズやヨーグルト、バターは牛乳からできていることを知り、「もし牛乳の発酵食品がなくなったら…」と一人一人が考えました。また、それぞれの作り方について本で調べたり、森永乳業の方にオンライン授業で詳しく乳製品の発酵について教えてもらったりしました。

夏休みの宿題では、様々な発酵食品を記録し、夏休み明けにどんな食品があったか共有しました。野菜・肉・魚・米・麦・牛乳の六つのコースに分かれて、もっと詳しく知りたい・調べたいと思う食品を選んで調べることにしました。

自分自身が選んだ食品の「発酵博士」になれるように、学習をすすめて参ります。

(三年四組 亀井 真希)



クラブ活動

模型クラブ

模型クラブでは、それぞれが作り上げたい模型を持ってきて模型作りに励んでいます。車や飛行機、恐竜など、様々なプラモデルを作成しています。互いの作品を見合ったり、助言を求めたりしながら、和気あいあいと取り組んでいます。細かな作業に真剣に取り組む眼差しがとても印象的です。自分の好きなことに没頭し、丁寧に作り上げる経験は子供たちの心を豊かにすると思います。

心を込めて作った作品が出来上がったとき、みんながどんな笑顔を浮かべるのか、今からとても楽しみです。引き続き、意欲的に取り組めるよう、環境を整えていきます。

(模型クラブ担当 島崎 俊輔)

アニメイラストクラブ

アニメイラストクラブでは、自分の好きなイラストを持ち寄り、上手に描けるように練習します。

一学期の活動では、鉛筆やペンを用いてイラスト制作に取り組みました。一人ひとりが試行錯誤を繰り返しながら、自分なりの表現を追求し、線の強弱や色の濃淡を生かした素晴らしい作品を描き上げました。友達の作品を見て、互いの作品のよさを伝え合う姿や、同じものを描いてみたいと互いに高め合う姿も見られました。

今後も子供たちが楽しみながら熱心に活動に取り組めるよう環境を整えていきます。

(アニメイラストクラブ担当 久保 友花)

パラスポーツクラブ

パラスポーツクラブは、今年度より発足した新設クラブです。港南ホールで活動しており、室内でできる様々なパラスポーツに触れ合い楽しむクラブです。

一学期は、ボッチャを行いました。未経験の児童も、少し触れたことのある児童も、数回の練習試合を経てルールを理解し、七月には、トーナメント戦を行いました。頭脳戦を楽しんだり、ペアまたはトリオの友達のよさを生かしながら運動したりする姿がたくさん見られました。

九月の活動では、動画で様々なパラスポーツを紹介し、月ごとに異なるパラスポーツに親しんでいく計画を、児童が考えました。一回一回の活動で、パラスポーツの楽しさを味わえるよう指導していきます。

(パラスポーツクラブ担当 中丸 喬介)

ベースボールクラブ

ベースボールクラブは、六年生八名、五年生十一名、四年生五名の計二十四名で活動しています。クラブ長や六年生を中心に四チームに分かれ、いまはハンドベースボールを行っています。

最初のクラブ活動では、みんなが楽しく野球ができるように話し合いました。野球を習っている子もいれば、未経験の子もいます。まずはルール理解、ボールを打つ楽しさ、投げる楽しさを味わえるように自分たちで話し合っただめたルールでゲームをしています。

ベースボールクラブで学ぶ運動の楽しさ、異学年と協力する大切さを普段の生活で生かせるよう指導していきます。

(ベースボールクラブ担当 風見 友哉)

表彰